

歴史書

9

2008
No. 179



通信

考古学と文学の間／門田 誠一

歴史書新刊ニュース〈7・8月〉

歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈7・8月〉

歴懇リバイバル2008フェア書目一覧

歴史書懇話会

考古学と文学の間

門田 誠一

(佛教大学教授)

歴史と文学のありかたについては、主として歴史小説や時代小説との関わりで、作家によって論じられることが多いように思う。海音寺潮五郎や吉村昭などの随筆のなかには、史料から小説へと質的に変化させる作業としての創作の苦渋や喜びが記されている。歴史的事象に題材をとった歴史小説の作家に、このような文章が多いのは、彼らが常に文学と歴史の双方に向き合っているためであろう。

歴史学者が文学や芸能に関して、歴史学の立場から論じる場合もある。学史のなかで名高い評論としては、林屋辰三郎氏が森鴎外の『山椒太夫』に関して述べた文章が知られる。その後も、御伽草子などを中心として、内容の歴史的吟味を行い、社会経済史的な視点からの接近も行われている。

しかしながら、文学や芸能に対する考古学からの言及は寡聞にして知らない。いっぽう、近來の発掘調査によって、古代だけでなく、中世や近世、さらに近現代にいたるまで、遺跡や遺物などの知見が蓄積しており、古典や説話から民話や民謡、また狂言や能などの芸能にいたるまで、広義の文芸のなかに考古学の要

素が散見される。これらを実際の遺跡や遺物の観点から検討することによって、作品の時代状況や創作の歴史的背景も含めて、考古学的に吟味することができるようになった。

いくつかの事例をあげてみよう。『遠野物語』は柳田国男が地元の佐々木喜善から聞き取った民話を集成した作品である。民話を学問の対象にまで昇華させたことで、民俗学だけでなく、人文学の歴史のなかで意義あるこの作品には、実は考古学的知見がふんだんに盛り込まれている。たとえば、『遠野物語』のなかでも、もっとも知られる「カッパ淵」の話は、実は遺跡と関連している。カッパがいたずらをしたとされる伝説の舞台となったカッパ淵は自然の流路でありながら、実は考古学的にいう遺跡の一部である。『遠野物語』では「七淵村には安倍氏という家ありて、貞任が末なりという。昔は栄えたる家なり。今も屋敷の周囲には堀ありて水を通ず。刀剣馬具あまたあり。」とある。この伝承にみえる「貞任」とはいうまでもなく、平安中期の豪族で前九年合戦において源頼義・義家と戦い、厨川柵で敗死した安倍貞任(1019~1062)を指す。この屋敷が実際に安倍貞任の末裔が築いたか

どうかは別として、『遠野物語』では、今も周囲に堀がめぐらされ、水が通じている、と現在形で語られている。実は、この堀の水が、カップ淵と通じている。考古学的にみると、このように堀で囲まれた屋敷跡は平安時代の後半から中世にかけて、豪族の居館あるいは城館として一般的な形態である。つまり、カップ淵はたんなる淵ではなく、遺跡としての居館跡を構成する堀の一部である。

はじめにあげた『山椒大夫』は、鴎外が創作の典拠とした説経節とは内容が著しく異なり、原作の主題が復讐であるのに対して、親子の恩愛へと異質な展開を遂げている。鴎外自身も述懐しているように、『山椒大夫』の時代や背景などの設定と考証は鴎外自身によるものである。すなわち、時は永保元年（1081）から寛治六、七年（1092、3）頃までに置き、厨子王を庇護する人物についても、説経節の梅津院から藤原師実という実在の人物に置き換えている（森鴎外「歴史其儘と歴史離れ」『鴎外全集』第26巻、岩波書店、1973年）。鴎外の創作の跡は、文中の各所に現われており、そのいくつかについては、遺跡・遺物をもとに創作の歴史的背景に接近できる。たとえば、安寿と厨子王が売られていった丹後の山椒大夫は大きな屋敷に住み、農業だけでなく、山野での狩猟や、鍛冶など多様な生産活動を行っている。物語のなかで、安寿が勤しんでいた潮汲みは、製塩のために海水を汲む作業であり、海水を満たした桶を一日に何度となく運ぶという重労働で

ある。

潮汲みについては、室町時代の小歌集である『閑吟集』（1518年撰述）にも、その苦役を描写した歌がある。

潮汲ませ 綱引かせ 松の落葉
搔かせて 憂き三保が洲崎や
波のよるひる

すなわち、潮を汲ませ、製塩の燃料として、松の落葉を掻き集めさせて、憂いの絶えないこの身は三保の洲崎に寄せては引く波さながらに、夜となく昼となく、辛い思いをする、という意であり、安寿のような境涯に置かれた者の述懐とも考えられる。

このように海水を煎熬して、塩を作ることは縄文時代には東北地域ですで行なわれており、その後、古墳時代から奈良時代には全盛期を迎え、中世には铸铁製の鉄釜などを用いて製塩が行なわれる。丹後地域では奈良から平安時代にかけて、多数の製塩遺跡が発見されている。そのなかでも、注目されるのが、浦入遺跡（舞鶴市）で、古代の製鉄遺構や製塩遺構などとともに製塩土器に古代氏族を示す遺物が出土していることである。この遺物は塩づくりに使う素焼きのうつわである製塩土器を支える脚の横と裏に「笠百私印」という刻印が施されたもので、平安時代前期頃と推定されている。この遺物によって、地方における古代の塩づくりに豪族がかかわっていたことが明らかになった。

芥川龍之介の作品にも考古学な要素が多い。たとえば、『大導寺信輔の半生』は芥川が生まれてから高等学

校に通うまでの自分の半生を描いた回顧録と位置づけられている。芥川は、その冒頭を、彼が生まれた土地の描写によって筆を起している。その地は「穴蔵大工だの駄菓子屋だの古道具屋だのばかりだった」とあって、明治の下町の風景が描写されている。「穴蔵大工」の「穴蔵」とは、地下に掘られた貯蔵・収納施設であって、江戸時代の遺跡の発掘調査によって、町人の宅地、武家屋敷を問わず、多数の穴蔵が発見された。

とくに湧水の多い下町の場合、板木で壁を造作した穴蔵は船大工の技法を用いて木を組み、水の浸入を防いだとされる。それを裏づける例として、新橋駅近くの旧汐留貨物駅跡地である汐留遺跡をあげておこう。ここは、もともと海浜部の低湿地であり、江戸時代に入って埋め立てられ、龍野藩脇坂家、仙台藩伊達家、会津藩保科（のち松平）家の屋敷と

なる。発掘調査では、やはり多数の木組み構造の穴蔵が発見されている。このような穴蔵は、これに落ちた男の話である「穴泥」として、落語の演目にもなっている。このように江戸から東京にかけて、穴蔵は人々の身近な存在であったことが知られ、それはまさしく芥川龍之介が育った風景を象徴している。

ここで示したように史料や古典はもとより、近代以降の小説を対象としても、考古学的知見から読み解ける内容があり、そのことによって文学作品とその創作の背景に対する史的な分析の視点が開ける。新著『文学のなかの考古学』（思文閣出版、2008年9月刊）では、文学と考古学の間にも生まれる新たな可能性を提示した。

(表紙写真) 能「善知鳥」の舞台となった安湯の名残(青森市善知鳥沼)

新刊ニュース

7・8月発行図書 *発売は予定のものもあります

歴史一般

辞典／年表・地図／歴史学・補助学

誰でも読める日本近代史年表

ふりがな付き
吉川弘文館編集部編
菊判 400頁 4,410円

吉川弘文館〔7月刊〕

先鋒嚮導隊、舎密局など、読みがわからない人名や用語にふりがなを付けた年表。1868～1945年をおさめた、シリーズ第4弾。

978-4-642-01445-8

わが歴史研究の七十年

三笠宮崇仁著

A 5判 496頁 12,600円

学生社〔7月刊〕

皇族としての公務のかたわら旧約聖書と古代オリエント史研究に没頭した著者の半生紀の軌跡。論文・講演・座談会などのほか随想も収録した決定版。 978-4-311-30071-4

史林 第91巻 第4号

史学研究会（京都大学大学院文学研究科内）発行
A 5判 160頁 1,200円 東京堂出版〔7月刊〕

1916年、史学研究会の機関誌として創刊され、歴史学・地理学・考古学の総合学術誌として数々の論考を送り出してきた『史林』が待望の市販化！ 年6冊。 978-4-490-30646-0

授業が変わる 世界史教育法

AOKI教育ライブラリ
鳥山 孟郎著

四六判 264頁 予価2,730円 青木書店〔8月刊〕

世界史＝暗記科目という「常識」をくつがえし、生徒の興味関心を高めつつ「歴史的思考」を培う授業のノウハウを豊富な教材とともに紹介。 978-4-250-20816-4

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

近藤義郎と学ぶ 考古学通論

近藤義郎著

A 5判 256頁 2,940円

青木書店〔7月刊〕

古墳研究の大家が40年にわたる発掘調査のさまざまな経験を織り交ぜながら「考古学とは何か」を楽しく、平易に語りかける。考古学事始めには最適の入門書。

978-4-250-20817-1

近世瓦の研究

山崎信二著

B 5判 320頁 予価12,600円

同成社〔8月刊〕

近世（16世紀半～18世紀末）の寺院・城郭の瓦を、日本全国にわたって調査し、それを比較検討する中で近世日本文化の特性を探る。 978-4-88621-449-2

古代地域社会の考古学

坂井秀弥著

A 5判 368頁 8,400円

同成社〔8月刊〕

古代国家の成立―変容―崩壊の過程は地域社会にどのような影響を与えたのか？ 多様性に富む古代地域社会の変遷を考古的に解明。 978-4-88621-451-5

集落からよむ弥生社会

弥生時代の考古学 8

設楽博己・藤尾慎一郎・松木武彦編

B 5判 250頁 5,250円

同成社〔8月刊〕

人口動態復元、社会考古学、GIS解析や人骨研究などの最新理論と手法、実践例を通して、弥生の集落からその集団と社会を復元。 978-4-88621-446-1

人骨出土例にみる縄文の墓制と社会

山田康弘著

B5判 360頁 12,600円

同成社〔8月刊〕

幾多の縄文人骨出土例について様々な埋葬属性を検討し、人類学的知見とリンクさせつつ縄文の墓制と墓制を通してみた社会を考察する。
978—4—88621—448—5

大地と森の中で—縄文時代の古生態系—

縄文時代の考古学 3

小杉 康・谷口康浩・西田泰民・水ノ江和同・矢野健一編

B5判 272頁 予価5,250円

同成社〔8月刊〕

土器や石器の層位学的検討に留まらず、古環境、年代観、食性や穀物栽培といった生業などを解明し、縄文の生態系を復元する。
978—4—88621—453—9

東北アジアの初期農耕文化と社会

甲元眞之著

A5判 480頁 9,975円

同成社〔8月刊〕

考古学資料を中心に文献史料、民族誌にも目をくばり、東北アジアの世界の基本的な枠組が形成された初期段階の様相を緻密に考察する。
978—4—88621—447—8

倭国大乱と日本海

市民の考古学 5

甘粕 健著

四六判 190頁 予価1,890円

同成社〔8月刊〕

弥生から古墳時代にかけての「倭国大乱」期の日本海域の動向を考古学的に追い、古墳出現後に大和勢力が版図を拡大する様相を解説する。
978—4—88621—454—6

馬冑が来た道

古代東国研究の新視点

金井塚良一著

A5判・670頁 16,800円

吉川弘文館〔7月刊〕

朝鮮半島から伝来した馬の武装具、馬冑。その謎に迫り、埼玉古墳群の宗主層と朝鮮半島との交流や、日本と東アジアの関係を考察する。
978—4—642—09316—3

多賀城跡—古代国家の東北支配の要衝—

日本の遺跡30

高倉敏明著

四六判 192頁 1,890円

同成社〔8月刊〕

古代東北の行政・軍事的中心地だった多賀城と、その周辺が多賀城廃寺や国府城を加えた広範囲を考古学的に分析し、東北の古代都市像を描く。
978—4—88621—452—2

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

日本家系・系図大事典

奥富敬之著

菊判 1204頁 12,600円

東京堂出版〔7月刊〕

古代・中世に興った名族1318を取録し、それぞれの発祥（源流）の地から近代に至るまでの変遷を2280の系図を掲げ、解説した。
978—4—490—10736—4

日清戦争

戦争の日本史19

原田敬一著

四六判 322頁 2,625円

吉川弘文館〔7月刊〕

近代日本の進路を決めた最初の対外戦争は、日本「国民」をどう変えたのか。その作戦と激闘のすべてがわかる本格的戦史。
978—4—642—06329—6

吾妻鏡必携

関 幸彦・野口 実編

四六判 352頁 3,780円

吉川弘文館〔8月刊〕

鎌倉時代の基本史料を読み解く上で不可欠な訓読法、用字や歴史用語などの基礎知識を満載した、座右必携の「吾妻鏡」百科の決定版。
978—4—642—07991—4

現代語訳吾妻鏡 4

奥州合戦

五味文彦・本郷和人編

四六判 240頁 予価2,100円

吉川弘文館〔8月刊〕

源義経をめぐる京都・平泉・鎌倉間の駆け引き。家督を継いだ泰衡は義経を自害に追い込むが、頼朝は泰衡を許さず自ら奥州に進発する。
978—4—642—02711—3

古事記の歴史意識

歴史文化ライブラリー260

矢嶋 泉著

四六判 266頁 1,890円 吉川弘文館〔8月刊〕

天武・元明両朝に成立の契機をもつ、その編纂意図とは。全巻を貫く皇統譜と物語を分析し歴史の構想を読み解き、その編纂動機に迫る。 978-4-642-05660-1

京都の歴史を足元からさぐる

北野・柴野・洛中の巻

森 浩一著

四六判 312頁 2,310円 学生社〔8月刊〕

千余年の歴史を誇る古都・京都の古社寺に秘められた歴史のエピソードを発掘し新しい魅力を実地再訪から見出す「森史学」の新展開。シリーズ3作目。 978-4-311-20322-0

鎌倉幕府軍制と御家人制

高橋典幸著

A 5判 336頁 9,975円 吉川弘文館〔8月刊〕

中世の国制の中での、幕府と軍事の関わりや展開とは。京都大番役や「某跡」賦課方式など、御家人制の諸相から幕府の特質を解明する。 978-4-642-02878-3

日本中世地域環境史の研究

高木徳郎著

A 5判 420頁 10,500円 校倉書房〔8月刊〕

大きな発展をみた景観論も、ほとんどは水田景観にとどまる。本書はさらに生業論に踏みこむ。 978-4-7517-3980-8

増補・改訂 南北朝期公武関係史の研究

森 茂暁著

A 5判 590頁 9,450円 思文閣出版〔7月刊〕

中世の公武、さらに朝幕関係を具体的に追跡することを通して中世国家の構造と特質を究明してきた氏の名著。その後の成果を新補注として増補復刊。 978-4-7842-1416-7

室町期東国社会と寺社造営

思文閣史学叢書

小森正明著

A 5判 352頁 7,350円 思文閣出版〔7月刊〕

「香取文書」などの分析から、鎌倉府体制下にあった室町期の東国において、寺社造営事業と寺社領経済が東国社会に与えた影響を考察する。 978-4-7842-1421-1

近世京都の都市と社会

杉森哲也著

A 5判 388頁 7,560円 東京大学出版会〔8月刊〕

現代につながる「伝統都市」の基盤となった近世京都を、身分制社会、町・町組・同族団、西陣織業を素材として、その空間・社会構造を解明する。 978-4-13-020144-5

真宗教団史の基礎的研究

織田顕信著

A 5判 630頁 13,650円 法蔵館〔8月刊〕

著者の多年にわたる真宗史・仏教史学の研究成果を「初期真宗の研究」「親鸞絵伝・絵像の研究」「三河真宗の研究」「近世・近代東本願寺の研究」の4つのテーマに分けて集大成する。 978-4-8318-7474-0

兵と農の分離

日本史リフレット84

吉田ゆり子著

A 5変型判 116頁 840円 山川出版社〔7月刊〕

戦国時代から江戸時代に至る激動の時期に進んだ「兵農分離」といわれる社会の変化を、地域に残された史料をもとに解き明かす。 978-4-634-54696-7

大名屋敷と江戸遺跡

日本史リフレット87

宮崎勝美著

A 5変型判 112頁 840円 山川出版社〔7月刊〕

いまだ空白となっている江戸時代前期の大名江戸屋敷の状況を、考古学的調査と文献・絵図などの史料を総合して復元する。 978-4-634-54696-7

近世の宗教と社会 2

国家権力と宗教

井上智勝・高埜利彦編

A 5判 326頁 11,550円 吉川弘文館〔7月刊〕

近世の宗教を、近世国家権力および支配との関係性において捉えることを目的とした論考11編を収録。研究動向の活性化と進展をめざす。 978-4-642-03430-2

近世都市空間の関係構造

岩本 馨著

A 5判 334頁 9,975円 吉川弘文館〔7月刊〕

都市空間とは何か。吉宗の紀州家臣の江戸屋敷獲得などの政治的關係や秩父三十四カ所靈場をめぐる文化的關係など、様々な角度から検討。 978—4—642—03432—6

近代京都研究

丸山宏・伊從勉・高木博志編

A 5判 600頁 9,450円 思文閣出版〔8月刊〕

京都という都市をどのように相対化できるのか。普遍性と特殊性をふまえながら、分野の相違を問わず研究者たちが参加した京大人文研の共同研究の成果。 978—4—7842—1413—6

文明開化 失われた風俗

歴史文化ライブラリー261

百瀬 響著

四六判 224頁 1,785円 吉川弘文館〔8月刊〕

文明開化の華やかさの一方、入墨・混浴などを禁止した違式詰達条例が施行された。風俗統制は、日本社会に何をもたらしたのか。 978—4—642—05661—8

満鉄の調査と研究

その「神話」と実像

松村高夫・柳沢遊・江田憲治編

A 5判 544頁 8,400円 青木書店〔7月刊〕

国策遂行・植民地支配の先兵と糾弾される一方で、「良心的」調査・研究が評価される満鉄調査組織。その両極に振れる「神話」を剥ぎ取る実証的研究。 978—4—250—20811—9

宣伝謀略ビラで読む、日中・太平洋戦争

空を舞う紙の爆弾「伝単」図録

一ノ瀬俊也著

B 5判 260頁 9,975円 柏書房〔7月刊〕

近代戦争は、宣伝・謀略の戦いでもある。その実態を知る、日・米・豪・中・英作成の「伝単」230点を、第一人者による詳細な解説付で収録。 978—4—7601—3378—9

中絶と避妊の政治学（仮題）

戦後日本のリプロダクション政策

ティアナ・ノーグレン著／岩本美砂子監訳

A 5判 320頁 予価3,399円 青木書店〔8月刊〕

戦後まもなく中絶が合法化された一方、ピル解禁が極めて遅かった日本。世界的にも稀な事態を生んだ政治過程を、利益団体らの駆け引きを中心に描く。 978—250—4—20818—8

秋田県の歴史散歩

歴史散歩 5

秋田県の歴史散歩編集委員会編

B 6変型判 304頁 1,260円 山川出版社〔7月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。文化財公開施設・散歩便利帳・参考文献・おもな祭りや年表など付録も充実。 978—4—634—24605—8

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

資料で読む世界の8月15日

川島真・貴志俊彦編

A 5判 240頁 2,625円 山川出版社〔7月刊〕

終戦の日8月15日は、アジアの他の国々、欧米の国々でどのように記憶されているか。新聞・雑誌などの資料を駆使して検証する。 978—4—634—64028—3

議論好きなインド人

対話と異端の歴史が紡ぐ多文化世界

アマルティア・セン著 佐藤宏・粟屋利江訳

四六判 704頁 3,990円 明石書店〔6月刊〕

核兵器でも、IT産業や暗算力でもない、3000年の歴史に探る民主主義の水脈。ノーベル経済学賞受賞者が縦横に示す真に学ぶべきインド。 978—4—7503—2795—2

神話と芸能のインド—神々を演じる人々

異文化理解講座 9

鈴木正崇編

四六判 264頁 1,890円 山川出版社〔8月刊〕

インド各地に残る神話や音楽、舞踏、演劇などのさまざまな芸能とそれらにかかわる人々を通じ、インド社会の多様な民衆文化の魅力を紹介する。 978—4—634—47454—3

ムガル帝国時代のインド社会

世界史リブレット111

小名康之著

A 5変型判 96頁 765円 山川出版社〔8月刊〕

ムガル帝国を考えるうえで鍵となる伝統の受容、宗教の共存を、その歴史・社会・文化のなかで具体的に紹介する。

978-4-634-34949-0

ビザンツの国家と社会

世界史リブレット104

根津由喜夫著

A 5変型判 96頁 765円 山川出版社〔8月刊〕

古代ローマ帝国の後継者として東地中海に君臨したビザンツ帝国。伝統と革新、栄光と哀惜が交錯する千年帝国の歴史を読み解く。

978-4-634-34942-1

イタリアの歴史【現代史】

イタリア高校歴史教科書

ロザリオ・ヴィッラリ著 村上義和、阪上眞千子訳

A 5判 468頁 5,040円 明石書店〔6月刊〕

世界史の中の一環としてイタリア史を位置づけ記述。イタリア全体を覆う過去の称賛といった歴史修正主義を排し史実に接近する方法論獲得を目指す。

978-4-7503-2802-7

イタリア史

新版世界各国史15

北原 敦編

四六判 540頁 3,700円 山川出版社〔8月刊〕

古代ローマから中世の都市国家をへて、19世紀の国民国家建設、さらに21世紀へといたる歴史を、明確な構成でたどる通史の決定版。

978-4-634-41450-1

ブラジル史

世界歴史叢書

ボリス・ファウスト著 鈴木茂訳

四六判 552頁 6,090円 明石書店〔6月刊〕

ブラジルの歴史学の第一人者による16世紀から現代までの通史。欧米各国でも翻訳され高い評価を得た興味尽きない一冊。

978-4-7503-2788-4

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

日本仏教洋楽資料年表

飛鳥寛粟編

B 5判 207頁 5,040円 法蔵館〔7月刊〕

140年間に亘る、仏教音楽に関する資料を丹念に集めあげた編年表。仏教洋楽が史学・書誌学的に整理された、仏教音楽研究の基礎資料となる一冊。60年に及ぶ研究の集大成！

978-4-8318-6215-0

仮名手本忠臣蔵を読む

歴史と古典

服部幸雄編

四六判 270頁 2,940円 吉川弘文館〔7月刊〕

絶大な人気を誇り、歌舞伎・文楽上演の定番でもある『仮名手本忠臣蔵』。史実と物語との関係を、幅広い文化を通して新たに読み解く。

978-4-642-07152-9

万葉集を読む

歴史と古典

古橋信孝編

四六判 284頁 2,940円 吉川弘文館〔8月刊〕

日本現存の最古の歌集の数々を、歴史研究者と文学研究者が縦横無尽に語り合う。また律令国家が確立する時代の「人々の関心」を探る。

978-4-642-07153-6

水墨画・墨蹟の魅力

正木美術館編

A 5判 244頁 予価3,465円 吉川弘文館〔8月刊〕

水墨画や墨蹟は中世美術の精髓とされる。正木美術館の名品は、現代までどのように受け継がれてきたのだろうか。その魅力に迫る。

978-4-642-07907-5

室町絵巻の魔力

再生と創造の中世

高岸 輝著

A 5判 228頁 3,990円 吉川弘文館〔8月刊〕

室町時代、歴代の足利将軍が絵巻の制作・収集・鑑賞し、その世界に魅入られていく姿や、制作に台頭したやまと絵師土佐派にも迫る。

978-4-642-07906-8

日本の民俗 6

村の暮らし
湯川洋司・市川秀之・和田 健著
四六判 300頁 3,150円 吉川弘文館〔7月刊〕

村の衰退がいわれて久しいが、現代社会の抱える矛盾は地域が「都市」的發展をとげた過程に起因するものも多い。村の民俗と未来を探る。 978-4-642-07873-3

日本の民俗 5

家の民俗文化誌
古家信平・多田井幸視・徳丸亞木著
四六判 264頁 3,150円 吉川弘文館〔8月刊〕

建造物、経営の主体、暮らしの場・民俗的想像力の源泉など、多様な側面をもつ家。取り巻く自然・環境・歴史から暮らしを読み解く。 978-4-642-07872-6

江戸期文化人の死因

杉浦守邦著
A 5判 340頁 2,625円 思文閣出版〔7月刊〕

江戸期に活躍した22名の文化人が、どのような病気にかかり、いかに対処しながら一生を終えたのか。日記、書簡、肖像画などからその死因を読み解く。 978-4-7842-1422-8

季刊 東北学 第16号

東北芸術工科大学東北文化研究センター編
A 5判 200頁 2,000円 柏書房〔8月刊〕

特集は〈平泉、一万年の系譜をもとに〉。藤原三代が築き上げた都市・平泉、その歴史・宗教・交易・生活文化などを東北の文化のなかで考察する。 978-4-7601-3425-0

修験道の修行と宗教民俗

五来重著作集5巻
宮家準担当
A 5判 494頁 8,925円 法藏館〔8月刊〕

日本宗教民俗学の全体的展開の原点を修験道に求める著者晩年の修験道研究を代表する連載「修験道の諸相」（『アーガマ』）をまとめた体験的修験道研究。 978-4-8318-3411-9

日本文化の人類学／異文化の民俗学

小松和彦還暦記念論集刊行会編
A 5判 784頁 10,500円 法藏館〔7月刊〕

日本文化研究における人類学的実践、及び民俗学的な知識と感性に裏打ちされた異文化研究のさらなる可能性を探求した一冊。 978-4-8318-5682-1

沖縄空手古武道事典

高宮城繁・新里勝彦・仲本雅博編著
B 5判 748頁 15,750円 柏書房〔7月刊〕

世界に誇る武芸文化の最高峰、沖縄空手・古武道の膨大な情報を網羅するはじめての事典。人物列伝、歴史年表、流派・型・技法の詳細な解説などを収録。 978-4-7601-3369-7

伝 記

今川義元

人物叢書254
有光友著
四六判 336頁 2,205円 吉川弘文館〔7月刊〕

駿河・遠江・三河の三カ国を治め桶狭間に落命した悲運の戦国大名。通説を見直し、巧みな領国経営と今川文化を開花させた義元伝の決定版。 978-4-642-05247-4

雑 誌

日本歴史 8月号（第723）＝7月刊
9月号（第724）＝8月刊
日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔送料込〕

三年間前払い23,500円〔送料込〕

学生・院生 一年間5,000円〔送料込〕

A 5判 146頁 各780円 吉川弘文館〔7・8月刊〕

重 版

室町・戦国期研究を読みなおす

中世後期研究会編

A 5判 408頁 4,830円

思文閣出版〔7月刊〕

若手研究者が提示する研究の過去と現在、未来。
【内容】政治史を読みなおす／社会史を読みなおす／経済史を読みなおす／宗教史を読みなおす【好評増刷】 978-4-7842-1371-9

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書懇話会
役員幹事改選
のお知らせ

当会は6月13日に平成19年度総会を開き、役員幹事を右記の通り選任いたしました。

代 表 幹 事（吉川弘文館）横井真木雄
書 記 ・ 幹 事（東京堂出版）馬場 辰也
会 計 ・ 幹 事（学生社）林 義則
特設店・企画委員会幹事（刀水書房）中村 文江
販 売 委 員 会 幹 事（塙 書 房）榎 祐典
弘 報 委 員 会 幹 事（同 成 社）吉田 幸一

一 会 告

平成20年6月13日の歴史書懇話会総会において、京都大学学術出版会の退会が認められました。

歴史書以外の――

人文社会図書新刊案内

2008. 7・8

――明石書店――

- アメリカ帝国のワークショップ 米国のラテンアメリカ・中東政策と新自由主義の深層
 グレッグ・グランディン著 ……………四六判 3,990円 6月
 解離する子どもたち ちぎれた心をつなぐ治療 リンダ・シラー著 ……………A 5判 3,150円 6月
 「中国残留孤児」帰国者の人権擁護 国家という集団と個人の人権 白石恵美著
 ……………四六判 2,940円 6月
 「北朝鮮」再考のための60章 日朝対話に向けて 吉田康彦著 ……………四六判 2,100円 7月
 フィンランドを知るための44章 百瀬宏、石野裕子編著 ……………四六判 2,100円 7月

――大月書店――

- GNH もうひとつの〈豊かさ〉へ、10人の提案 止信一編著 ……………四六判 1,800円 7月
 AV アダルトビデオをまねてはいけない 杉田聡著 ……………四六判 1,700円 7月
 PTSD ってなに?…トラウマ体験後のケア 10代のセルフケア⑦ キャロリン・シン普森ほか著
 ……………四六判 1,400円 7月
 大江満雄論 思想詩人の肖像 渋谷直人著 ……………四六判 4,800円 8月
 癩者の憲章 大江満雄ハンセン病論集 大江満雄著 ……………四六判 2,800円 8月

――東京大学出版会――

- 行政学叢書10 道路行政 武藤博己著 ……………四六判 2,730円 7月
 責任という虚構 小坂井敏晶著 ……………A 5判 3,675円 7月
 平成長期不況 政治経済学的アプローチ 大瀧雅之編 ……………A 5判 6,090円 7月
 政治空間の変容と政策革新6 科学技術のポリティクス 城山英明編 ……………A 5判 4,725円 7月
 平等なき平等条項論 equal protection 条項と憲法14条1項 木村草太著 ……………A 5判 6,090円 7月
 〈生〉の社会学 藤村正之著 ……………四六判 2,940円 8月
 国際租税法 増井良啓・宮崎裕子著 ……………A 5判 3,150円 8月
 心理援助のネットワークづくり 〈関係性〉の心理臨床 中釜洋子・高田治・齋藤憲司編
 ……………四六判 2,940円 8月

――法 蔵 館――

- 仏教と生命倫理の架け橋 鍋島直樹・井上善幸・マルコム・D. エッケル編
 ……………A 5判 3,780円 7月
 信楽峻磨著作集 6巻 真宗教義学原論Ⅰ 信楽峻磨著 ……………A 5判 予価9,450円 8月
 信楽峻磨著作集 7巻 真宗教義学原論Ⅱ 信楽峻磨著 ……………A 5判 予価9,450円 8月

歴史書懇話会40周年記念

歴懇リバイバル2008

秋の共同復刊企画

- * 名著・貴重書・基本図書を復刊！
- * 日本史を中心に考古学、宗教史、世界史、国文学、伝記など幅広いラインナップ！
- * いずれも少部数の復刊です。お早めにご注文下さい！
- * 復刊書目は2008年7月31日現在 8社40点。

主催：歴史書懇話会

発売：2008年10月上旬

学 生 社	03-3857-3031	刀 水 書 房	03-3261-6190
思 文 閣 出 版	075-751-1781	塙 書 房	03-3812-5821
東京大学出版会	03-3811-8814	法 藏 館	075-343-5656
東 京 堂 出 版	03-3233-3741	吉 川 弘 文 館	03-3813-9151

※著者名につづく（ ）は初版年、出版社名につづく〔 〕は分類を示します。

出雲大社

千家尊統著（1998）

四六判 262頁 2,310円

学生社〔古代史〕

第82代出雲国造が従来固く秘められてきた神秘的な「火継式」や「古代新嘗祭」などの全貌をはじめて公開し、その他の特殊な出雲の祭りなどを解説。 978—4—311—40715—4

古代の鉄と神々

真弓常忠著（1997）

四六判 240頁 2,310円

学生社〔考古学〕

記紀神話や銅鐸祭祀に隠されていた古代鉄文化と祭祀の原像を掘り起こし、稲作文化の視点からではわからなかった日本古代史の謎を解明する。 978—4—311—20212—4

三輪山の神々

上田正昭他著（2003）

四六判 226頁 2,079円

学生社〔考古学〕

神体山と磐座信仰とは何か？ヤマト王権発祥の地で、古代祭祀から国家成立の謎に迫る。日本の古代の姿を古代信仰から解き明かす。 978—4—311—20261—2

三輪山の古代史

上野 誠他著（2003）

四六判 208頁 2,079円

学生社〔考古学〕

神体山・三輪山の麓に広がる大和政権とは？三輪山をご神体とする大神神社、万葉の舞台山の辺の道など、日本の古代の姿を文献史学から解明。 978—4—311—20262—9

棟札の研究

水藤 真著（2005）

A 5判 220頁 3,990円

思文閣出版〔建築史〕

寺社の上棟式・大修理のさい棟木に打ち付ける棟札。歴史博の調査報告書をもとに、棟札の意味・価値など多方面から検討し、研究の整理と方向性を示す。 4—7842—1243—4

歴史と歴史学

斎藤 孝著（1975）

四六判 210頁 2,310円 東京大学出版会〔歴史一般〕

歴史とは何か、歴史学とはどのような学問か、という古くて新しい問題について考察。独自の立場からの史学概論として、歴史学を志す学徒にとって好適の入門書。 978—4—13—006048—6

源氏物語の世界

秋山 虔著（1964）

A 5判 440頁 6,300円 東京大学出版会〔中世史〕

女流文学の形成に筆をおこし、源氏物語における人間造型の方法と、紫式部の思考と文体を明らかにし、さらに枕草子を論じて、平安文学の本質にせまる。 978—4—13—080036—5

荘園の世界

稲垣泰彦編（1973）

四六判 350頁 2,520円 東京大学出版会〔中世史〕

中世の民衆の生活の場、荘園。中世の各時期の典型的な荘園を取上げ、荘園を一つの世界として、権力と闘い、生産にいそしみ、生活を楽しむ民衆の姿を描き出す。 978—4—13—006014—1

合本 源氏物語事典

池田亀鑑編（1960）

B 5判 1,188頁 2,6250円 東京堂出版〔国文学〕

源氏本文中の重要事項3000項目を注釈・解説し、注釈書解題・諸本解題・所引詩歌仏典・作中人物解説・人物呼称一覧・年表・図録を収録した大著。 978—4—490—10223—9

源氏物語注釈書・享受史事典

伊井春樹編（2001）

菊判 832頁 18,900円

東京堂出版〔国文学〕

平安末期から幕末までの注釈書525点の詳細な解題と享受の歴史を年月日順に克明に追い、巻末に100頁に及ぶ書名・人名索引を付した。 978—4—490—10591—9

- 江戸時代の古文書を読む 元禄時代** 「生類憐み令」や武士の日常を記す「鸚鵡籠中記」など、史料4点の原文を掲げ、脚注をつけ、解説・読み下し文を付し、史料の解説も施した。 978-4-490-20465-0
徳川林政史研究所監修 (2002)
B 5判 136頁 2,520円 東京堂出版〔近世史〕
- ルクセンブルクの歴史—小さな国の大きな歴史** 中世ルクセンブルク伯の城塞から出発、2度の世界大戦をくぐり抜けて、いまや原加盟国の一国としてEUを支える、人口45万の不思議な国。本邦唯一の通史！ 978-4-88708-239-7
G.トラウシュ著／岩崎彦彦訳 (1999)
四六判 250頁 2,940円 刀水書房〔世界史〕
- ハプスブルク帝国史—中世から1918年まで** ハプスブルク朝800年の歴史。欧州全域にまたがる大国家の政治・外交・民族問題を注視、第1人者によるコンパクトな名著。 978-4-88708-106-2
G.シュタットミューラー著／矢田俊隆解説・丹後杏一訳 (1989)
A 5判 246頁 2,940円 刀水書房〔世界史〕
- 藤原鎌足** 改新の支柱として以後の国家観念の規底を創出したイデオログ鎌足の人間像を、7世紀日本の直面した対内外政治危機の中に浮き彫りにする。 978-4-8273-4003-7
田村園澄著 (1966)
新書判 214頁 945円 塙書房〔伝記〕
- 西行の世界** 山里に止住し、山野海辺に漂泊し、内面の悲哀と苦悩を痛切に味わって生きた西行、その独自のいろどりをもつ詩情の感動を、見事によみがえらせた好著。978-4-8273-4057-0
山本幸一著 (1979)
新書判 230頁 998円 塙書房〔文化史〕
- 幕藩社会と商品流通 (OD版)** 商品流通という特定の視角から、幕藩制社会の構造的発展と崩壊の過程を概観する。 978-4-8273-3511-8
中井信彦著 (1961)
B 6判 251頁 2,940円 塙書房〔近世史〕
- 日本古代村落史序説 (OD版)** 70年代の首長制論をふまえ、文献史料によって7・8世紀の古代村落の具体相を可能なかぎり追究する。 978-4-8273-3585-9
吉田 晶著 (1980)
B 6判 304頁 3,360円 塙書房〔古代史〕
- 改訂 補陀落渡海史** 生きながら南方の観音浄土をめざす特異な習俗の全貌を、多数の新出史料と絵画史料で初めて解明。 4-8318-7569-3
根井 浄著 (2001)
A 5判 788頁 16,800円 法蔵館〔仏教史〕
- 本願寺教団の展開 戦国期から近世へ** 新たに発掘した証如・顕如真筆史料等から戦国期の本願寺と木曾川中流域の真宗教団の展開を詳述。 4-8318-7479-5
青木忠夫著 (2003)
A 5判 488頁 10,500円 法蔵館〔仏教史〕
- 美術のアイデンティティー 誰のために、何のために** 美術は誰のため、何のためにつくられ、どこに向かうのか。東西の「美術史」展示、戦後の日本美術の社会構造の検証などから新たな視点で捉え直す。 978-4-642-03778-5
佐藤道信著 (2007)
A 5判 224頁 4,095円 吉川弘文館〔美術史〕
- 誕生と死の民俗学** 「生まれ変わり」と「靈魂」で説明されがちな人生儀礼研究を振り返り、具体的民俗事象から「いのち」に関する日本人の思考や認識のあり方を解き明かす。 978-4-642-08191-7
板橋春夫著 (2007)
A 5判 334頁 8,925円 吉川弘文館〔民俗学〕

徴兵制と近代日本1868—1945

加藤陽子著 (1996)

四六判 290頁 予価3,045円 吉川弘文館〔近代史〕

国家が国民に強制する兵役義務＝徴兵制は、国民と社会にどんな影響を与えたか。徴兵令制定一兵役法廃止まで、軍部・政府間の攻防を描く。 978—4—642—07496—4

蘇我蝦夷・入鹿 (人物叢書)

門脇禎二著 (1977)

四六判 168頁 予価1,575円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

悪逆非道の元兇とされてきた人間像を、7世紀前半～中葉の古代国家形成期の政治状況の中で再評価した画期的名著。 978—4—642—05006—7

和気清麻呂 (人物叢書)

平野邦雄著 (1964)

四六判 266頁 予価1,995円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

備前の土豪から身を起し、宮廷政治の優れたオルガナイザーとして新時代の開拓者となった清麻呂の生涯を、綿密な史料調査によって描く。 978—4—642—05030—2

円仁 (人物叢書)

佐伯有清著 (1989)

四六判 312頁 予価2,205円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

在唐十年、未曾有な体験を持つ名僧の伝記。最澄の門弟として天台密教を弘めた強靱な精神に支えられた生涯を詳細に描く。 978—4—642—05158—3

円珍 (人物叢書)

佐伯有清著 (1990)

四六判 308頁 予価2,205円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

天台座主智証大師円珍の生涯を克明にたどった初の詳細な伝記。当時の政治状況の中で行動する姿などを新たな視点から描く。 978—4—642—05192—7

紀貫之 (人物叢書)

目崎徳衛著 (1961)

四六判 216頁 予価1,890円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

万葉復古の風潮で急陥落した王朝歌壇の偶像の生涯と業績を検討し、再評価の先駆をなした伝記。 978—4—642—05018—0

源頼光 (人物叢書)

龐谷寿著 (1968)

四六判 234頁 予価1,995円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

酒吞童子退治で有名な頼光の、武勇に秀で処世の術にもたけた生涯を、説話等をも巧みに織りまぜて、時代の上に浮彫りしたユニークな伝記。 978—4—642—0516—6

源義家 (人物叢書)

安田元久著 (1966)

四六判 214頁 予価1,995円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

武門の棟梁として威名天下に轟き、武勇の神と仰がる。その歴史的生涯を史実に基づいて究明した“八幡太郎”伝の決定版。 978—4—64—05166—8

西行 (人物叢書)

目崎徳衛著 (1980)

四六判 200頁 予価1,785円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

知られなかった多くの史実を明らかにし、古代末期の波瀾の時代に生きた「数奇の遁世者」西行の全貌を平易に描く。 978—4—64—205178—1

法然 (人物叢書)

田村圓澄著 (1959)

四六判 270頁 予価2100円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

浄土宗の開祖法然は、日本仏教史の転回点に立つ。あるがままの人間法然を描き、執拗な弾圧に抗する苦悩と実践とを追求する。 978—4—642—05120—0

北条泰時 (人物叢書)

上横手雅敬著 (1958)

四六判 230頁 予価1,890円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

御成敗式目の制定者、稀代の名執権と謳われる。その誠実と苦悩の人間像を、承久の乱と武家政権の確立をはかる激動の時代を背景に描く。 978—4—642—05135—4

親鸞（人物叢書）

赤松俊秀著（1961）

四六判 372頁 予価2,310円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

肉食妻帯を自ら実践し、真の民衆宗教を樹立した傑れた宗教家。異説多い親鸞伝の諸問題を解明した名著。

978—4—642—05003—6

前田利家（人物叢書）

岩沢愿彦著（1966）

四六判 380頁 予価2,310円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

加賀百万石の藩祖前田利家の実録。信長・秀吉から家康へ、変転する動乱の世を生き抜いた勇氣と誠実の人。その真面目を浮彫にする。

978—4—64—205133—0

近松門左衛門（人物叢書）

河竹繁俊著（1958）

四六判 236頁 予価1,890円 吉川弘文館〔伝記・近世〕

「劇作家の氏神」と称せられる近松の、不明とされた素性と生涯を、歌舞伎研究に畢生の努力を傾けた著者が、作品織り成して巧みに浮彫にする。

978—4—642—05121—7

徳川吉宗（人物叢書）

辻達也著（1958）

四六判 230頁 予価1,890円 吉川弘文館〔伝記・近世〕

江戸幕府中興の英主、幕藩体制転換期の象徴的将軍。その生涯と施政描き享保改革の実態を究明する。

978—4—642—05007—4

清沢満之（人物叢書）

吉田久一著（1964）

四六判 268頁 予価1,995円 吉川弘文館〔伝記・近代〕

明治仏教界の明星、今親鸞。近代日本の哲学思想に偉大な感化与えた宗教的天才の思想と生涯を描く。

978—4—642—05035—7

乃木希典（人物叢書）

松下芳男著（1960）

四六判 226頁 予価1,890円 吉川弘文館〔伝記・近代〕

軍神と崇められる明治の象徴的将軍。その古武士的風格と冷厳な家庭生活を併せ描く人間乃木の実伝。

978—4—642—05023—4

渋沢栄一（人物叢書）

土屋喬雄著（1989）

四六判 296頁 予価2,100円 吉川弘文館〔伝記・近代〕

日本資本主義の父といわれる渋沢栄一。近代日本の発展に多大な役割演じた大実業家の生涯を、時代の息吹と共に鮮明に描く。

978—4—642—05159—0

南方熊楠（人物叢書）

笠井清著（1967）

四六判 370頁 予価2,310円 吉川弘文館〔伝記・近代〕

奇行に富む型破りの非凡な学者！海外及び帰国後の全生涯を生物学・民俗学の業績とあわせ描く。

978—4—642—05014—2

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

雑誌定期購読のご案内

1 年間予約で、
日本全国どこへでもお届けします！

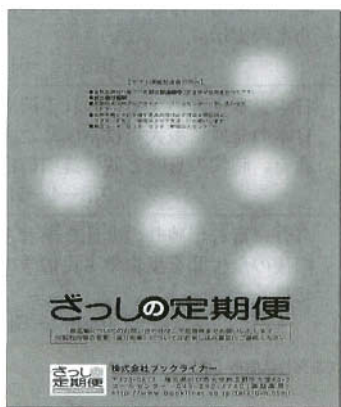
書店様店頭でのお受取りか、ご自宅または指定先への送付が選べます。ギフトにもどうぞ。

2 予定外の
特価号があっても、
追加料金はいただきません！

購読料金には予定されている特価が含まれる場合がございます。

3 さらに、商品によっては
うれしい特典が！

割引やプレゼントがもらえる商品がございます！



グリーンのパッケージで

完全個別包装にてお届けします

ざっしの
定期便
株式会社ブックライナー

ブックライナーの雑誌定期購読サービス

ざっしの定期便

最新情報・各種キャンペーンなど詳しい内容は、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.bookliner.co.jp/teikibin.html>

納本制度

国立国会図書館の

納本制度とは、ご存じのように書籍などを出版した者が、その国の機関などに出版物を納める制度です。近代の納本制度は16世紀のフランスに始まったと言われていますが、わが国では、昭和23年の国立国会図書館法によって、当館への納本が法律で義務づけられました。

日本の納本制度で納入の対象となる出版物は、図書、小冊子、雑誌、新聞、楽譜、地図、レコード、CD、DVD、ビデオなどです。出版社が発行し、市場に流通するような出版物だけでなく、国、地方公共団体、独立行政法人、公益法人、NPO法人、営利企業の出版物、また個人の自費出版物なども、納本制度の対象となります。その出版物が、有料であるか、無料であるかを問いません。

納本制度は、日本国民の知的活動の所産を網羅的に収集し、後世に伝えることが目的です。そのため、国立国会図書館では、納入された出版物は目録を作成して当館のホームページで公開し、保存に適した環境で、末永く保存いたします。また、資料は18歳以上であればどなたでもご利用いただけます。

このように現在の納本制度は、戦前の出版法に基づいた内務省への届出制とは異なり、国民の知的営為の記憶装置として、文化財を未来に伝える制度です。

国立国会図書館収集書誌部

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1

<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/deposit.html>

歴史書懇話会特設店

- | | | |
|-----------|-------|---|
| 旭屋書店 | 札幌店 | 〒060-0005 札幌市中央区北5条西2-5
ステラプレイス5F
☎011-209-5181 |
| ジュンク堂書店 | 仙台店 | 〒980-0021 仙台市青葉区中央4-1-1
☎022-265-5656 |
| 岩瀬書店 | 富久山店 | 〒963-8051 郡山市富久山町八山田
字大森新田36-1
☎024-936-2220 |
| 煥乎堂 | 本店 | 〒371-0023 前橋市本町1-2-13
☎027-235-8111 |
| 須原屋 | 本店 | 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-3-20
☎048-822-5321 |
| 岩波ブックセンター | 信山社 | 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3
☎03-3263-6601 |
| 東京堂書店 | 本店 | 〒101-0051 千代田区神田神保町1-17
☎03-3291-5181 |
| 芳林堂書店 | 高田馬場店 | 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場
1-26-5 F Iビル
☎03-3208-0241 |
| ジュンク堂書店 | 池袋本店 | 〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-15-5
☎03-5956-6111 |
| 有隣堂 | 本店 | 〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町1-4-1
☎045-261-1231 |
| Booksなかだ | 本店 | 〒939-8212 富山市掛尾町180-1
☎076-492-1192 |
| うつのみや | 柿木島本店 | 〒920-0962 金沢市広坂1-1-30
☎076-234-8111 |
| 平安堂 | 長野店 | 〒380-0825 長野市末広町1355-5
☎026-224-4550 |
| 精文館 | 書店 | 〒440-8517 豊橋市広小路1-6
☎0532-54-2345 |
| ちくさ正文館 | 本店 | 〒464-0075 名古屋市中千種区内山3-28-1
☎052-741-1137 |
| ジュンク堂書店 | 京都店 | 〒600-8005 京都市下京区四条富小路角
☎075-252-0101 |
| 旭屋書店 | 本店 | 〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-12-6
☎06-6313-1191 |
| ジュンク堂書店 | 大阪本店 | 〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20
堂島アバンザ1～3F |

ジュンク堂書店	難波店	☎06-4799-1090 〒542-0075 大阪市中央区難波千日前12-7 Y. E. S. NAMBAビル
ジュンク堂書店	三宮店	☎06-6635-5330 〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-6-18
フタバ図書	T E R A	☎078-392-1001 〒735-8588 広島県安芸郡府中町大須2-1-1 ダイヤモンドシティ・ソレイユ
りーぶる	天神	☎082-561-0770 〒810-0001 福岡市中央区天神4-4-11 福岡ショッパーズプラザ6F
ジュンク堂書店	福岡店	☎092-713-1001 〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-13 天神MMTビル
		☎092-738-3322

2008年7月現在

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

青木書店	http://www.aokishoten.co.jp/
明石書店	http://www.akashi.co.jp/
校倉書房	http://www.azekurashobo.com/
大月書店	http://www.otsukishoten.co.jp/
学生社	http://www.gakusei.co.jp/
柏書房	http://www.kashiwashobo.co.jp/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
東京大学出版会	http://www.utp.or.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://www.hanawashobo.co.jp/
法蔵館	http://www.hozokan.co.jp/
山川出版社	http://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

8月6日(月)広島に、8月9日(木)長崎に、原爆が落とされてから今年で63年になります。その記念の日に街でTVアナウンサーから「今日は何の日かご存知ですか?」と質問されても、答えられない多くの人々がいます。原爆を知らない世代は、この日、せめてその「歴史」を読みたいものです。

この夏～秋の歴史書懇話会のフェアをご案内致します。

- 須原屋本店(浦和)「戦争は他人事ですか?—近現代戦を知るフェア」
8月末まで
須原屋さん恒例のフェアです。戦争を歴史として捉えた専門書を数多く揃えています。
 - 月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ30冊」の連続ミニフェアを4書店で開催中(2006年7月から)です
◇TENDOハ文字屋(天童市)／◇東北学院大学土樋店(仙台市)／
◇紀伊國屋書店新潟店(新潟市)／◇今井書店グループセンター店(松江市)
歴史各社で、その折々に話題になっている本、とっておきの本など、選りすぐられた30冊が、月代わりで楽しめます。お近くの読者様、是非お立ち寄り下さい。
 - 東京堂書店本店「歴史書懇話会・国語国文学出版会 連続各社フェア」
第21回目「角川書店全点フェア」(2階)6月～8月
第22回目「刀水書房全点フェア」(3階)7月～8月
歴史書懇話会と国語・国文学出版会の各社順番に連続フェアを開催中。1社2か月ずつ続きます。普通は書店で目にする事がないような本まで、棚にギッシリと社観です。
 - 東京堂書店本店「源氏物語とその時代フェア」(1階～3階)9月～11月
「源氏物語千年紀」を記念して入門書から、時代背景が深く読み込める歴史書までの大フェアが開催されます。なお、フェア期間中の11月8日(土)、国文学研究資料館館長伊井春樹先生の講演会が東京堂書店6階で開催されます。詳細は東京堂書店へ(電話03-3291-5181)お問い合わせ下さい。
 - ジュンク堂書店新宿店で、昨秋から「これが歴史書だ!」フェアが続いています。
第9回目「幕藩制社会と町人文化」7月16日～8月31日
第10回目「幕末維新期」9月1日～10月15日
- ◆連続講座のお知らせ
- 10月18日(土)から毎月連続の「同成社歴史学講座」が始まります。講師は大濱徹也先生(筑波大学名誉教授)、テーマは「近代における天皇/明治維新以降の近代日本における天皇をめぐる」、会場は日本出版クラブです。詳細は同成社へ(電話03-3239-1467吉田宛)お問い合わせ下さい。

○「百人斬り競争」をへ賞賛した時代があった

「百人斬り競争」と 南京事件

史実の解明から歴史対話へ

笠原十九司著 46判・2730円

軍人はなぜ日本刀を携行したのか。「百人斬り」は可能か。文献史料を徹底検証。歴史学の立場から「論争」に終止符を打つ。

○東北民衆のたくましさを見よう

これなら わかる 東北の歴史Q&A

二戸富士雄・榎森進著 AS判・1575円

おもくらしい歴史観にしはられがちな従来の東北史を脱却して、民衆のたくましさや独自の民俗文化に光をあてる。

○岡村昭彦や石牟礼道子を世に送り出した記録作家の傑作評伝

闇こそ砦 上野英信の軌跡

川原一之著 46判・2730円 朝日新聞ほか各紙誌書評で話題

北九州・筑豊の炭鉱で地底の闇を書き続けて死んだ上野英信の生涯を、丹念な取材と直接のふれあいをもとに掘く傑作評伝。

○「沖繩戦集団自決」での日本軍の決定的役割を解明

沖繩戦と民衆

好評の既刊

林博史著 46判・5880円

膨大な記録・資料の蓄積をふまえ、沖繩戦のなかに生きた民衆像をリアルに、そして全面的に捉えた調査研究の集大成。

税込価格

東京都文京区本郷2-11-9
電話03(3813)4651〈代表〉

大月書店

<http://www.otsukishoten.co.jp/>

日本史年表・

年号ハンドブック

阿部 猛編

新書判・三六〇円

年号の由来に関する解説と、西暦と年号の対照がひと目でわかり、一年を一行にまとめた見やすい年表。

⑦ 縄文時代の考古学 全十二巻 第七回配本

⑧ 土器を読み取る ―縄文土器の情報

小杉・谷口・西田・水ノ江・矢野編

B5判・六〇〇円

弥生時代の考古学 全九巻 第二回配本

⑧ 集落からよむ弥生社会

設楽博己・藤尾慎一郎・松木武彦編

B5判・五五〇円

人骨出土例にみる縄文の墓制と社会

山田康弘著

B5判・二〇〇〇円

東北アジアの初期農耕文化と社会

甲元眞之著

A5判・九七五円

焼塩壺と近世の考古学

小川 望著

B3判・三〇〇〇円

シリーズ日本の遺跡

菊池徹夫・坂井秀弥企画・監修(四八判)

②⑨ 飛山城跡

下野の古代烽火家と中世城館
今平利幸著・一六〇〇円

③⑩ 多賀城跡

古代国家の東北支配の要衝
高倉敏明著・八六〇円

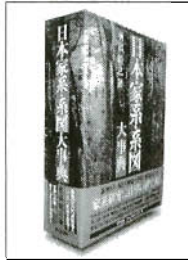
同成社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税込み)
TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 振替00140-0-20618
<http://homepage3.nifty.com/dousessha> E-mail dousessha@nifty.com



日本家系・系図大事典

精細な系図を豊富に掲載した比類のない
充実した家系事典の決定版 著者渾身の大作！



奥富敬之著 本書では、まず姓名・名字・名前について概説を施す。そして日本史上で知られている著名な姓氏・名字一三一八を五〇音順に配列し、諸史料からその由来、発祥（源流）、変遷過程、分布などを記述し、約四五〇〇の家系に言及した。歴史研究のための貴重な文献となっている。また、二二八〇にも及ぶ豊富な系図を併せて掲載し、貴重な史料ともなっている。それぞれの家系に関する記述は類書を圧倒する詳しさで、人物や家系を調べには便利な事典であり、座右に一冊置きたい必備の事典。

菊判 一二〇四頁 定価一二六〇〇円

CD-ROM版 鎌倉遺文 古文書編全四十六巻

竹内理三・東京大学史料編纂所編 地域史・郷土史・東アジアなどあらゆる分野において実証的な中世史の研究に必須の根本史料である鎌倉遺文全四十二巻と補遺編全四巻の古文書三五〇〇〇余通を一枚のCD-ROMに収録。ウィンドウズ対応。●詳細内容見本進呈 価格九四五〇〇円

能楽史年表 近世編(全3巻)上巻

能楽史年表に不可欠の初の年表！

鈴木正人編 序文表 章 古代・中世編に続き近世編(全3巻)を刊行する。近世編上巻は慶長6年(1601年)から貞享4年(1687年)まで江戸期の豊富な古記録類から5600余項目を採録し、時系列にまとめた。為政者と能役者の関係がよくわかる。 定価15750円



城郭の見方・調べ方 ハンドブック

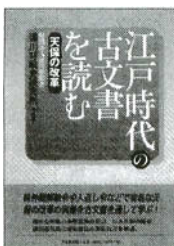


菊判 232頁

西ヶ谷恭弘編著・阿部・大橋・笹崎 建築・土木・歴史の切り口から城郭の見方・調べ方を詳細に解説。最新の成果をもとに四〇〇点にも及ぶ写真・図版を掲載した。 定価二五二〇円

江戸時代の古文書 を読む

—天保の改革—



B5判 150頁

徳川林政史研究所監修 シリーズ六冊目。天保の改革に焦点を当て、その歴史の背景や流れを読み解き、把握できるように編集工夫した好評の古文書解説の入門書。 定価二五二〇円

東京堂出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17 (価格税込)
電話 03-3233-3741 FAX 03-3233-3746
<http://www.tokyodoshuppan.com>

21世紀の『世界史百科』を目指す！ (内容見本呈)

世界史の鏡

樺山紘一編

このシリーズは、いま歴史の現場にいる歴史家たちが、地域・国家・都市・情報・環境の五つの切り口から語る新しい世界史です。20世紀の終幕まで見えなかった(現在と)現在にいたる世界史の新鮮な驚きを期待下さい。各巻 四六並製 一六〇頁 ¥二六八〇

歴史家たちのユートピアへ 国際歴史学会議の百年
樺山紘一著 〇巻 ★昨年月月初回配本
世界中から歴史家が集まってきた。その苦悩と喜悅

ハイチの栄光と苦難 世界初の黒人共和国の行方
浜忠雄著 地域6 ★昨12月第2回配本
独立達成後、百年、最貧国の一つとして破滅に逝っているのは何故か？

イタリア都市の諸相 都市は歴史を語る
野口昌夫著 都市4 ★1月第3回配本
歴史が層になつて見えるイタリア都市！ 成り立ちから読み解く

本を読むデモクラシー 読者大衆の出現
宮下志朗著 情報3 ★3月末第4回配本
庶民はいつ頃から本を読むようになったのか？

ナイル 地域をむくく川
加藤 博著 地域7 ★7月始第5回配本
人種と民族のつばに暮らす人々が紡ぎ出す川と砂漠の世界

イブラヒムの旅 ロシア・イスラム世界・日本 (仮題)
小松久男著 地域10 ★9月第6回配本
明治末、イスラム世界と日本を結ぼうと来日したタタール人の足跡

アナール派創始者フエールの幻の講義ノート復元成る！

ヨーロッパとは何か？ 第二次大戦直後の
連続講義から

シャレーヴル著/長谷川輝夫訳 A5種カバー付き四六六頁 ¥五九八五
フエールがバリ解放直後から行なった連続講義のノートを、現世代が整理編集。古代から現代まで、アジア、アフリカをも捉えながら、人類史の中心ヨーロッパ論を展開した壮大な文明論。マルクフ・ゴッポ、ブリジッド・マンソン序文

7月刊

不敗の農民運動家矢後嘉蔵 生涯と事績
岩本由輝解題 北山郁子編 A5箱 五二〇頁 ¥七三五〇
江戸期以来の耕作権重視の慣行に則り、訴訟で農民を守った富山の農民運動家

中世歴史人類学試論 身体・祭儀・夢幻・時間
J.C.シムント著/渡邊昌美訳 A5箱 四五〇頁 ¥七三五〇
アナール派第四世代の第一人者シムントが過去30年の研究を世に問う。中世民衆への関心から「歴史人類学」を提唱する歴史家の軌跡！

歴史の風 史学雑誌「刀水歴史全書」 四六上製 二九四頁 ¥二九四〇
「史学雑誌」好評連載の「コラム 歴史の風」が1冊になりました！ 毎年5回、年間55人の歴史家による歴史学「七」の要覧！

中国聚落史の研究 中村治兵衛著作集 3
中村治兵衛著 A5箱 四五〇頁 ¥二五五〇
戦前中国農村の調査を出発点に、都市商人組合・職業ギルドの社会問題等に及ぶ

世紀末ウィーンのユダヤ人 一八六七—一九二八 (人間科学叢書43)
S.ベラー著/桑名映子訳 A5上製 三九〇頁 ¥四九三五

アーカイブズへの眼 記録の管理と保存の哲学
大濱徹也著 A5上製 二二二頁 ¥二二二〇

宗教学必須用語22 M.C.テイラー編/奥山倫明監訳 A5箱 六二四頁 ¥八四〇〇

ゾロアスター教の歴史 仮題 (刀水歴史全書79)
青木 健 著 四六上製 三〇〇頁 ¥二九四〇
教祖ザラトゥシュトラから現在まで、最新の研究成果で綴る通史

刀水 No.11 「異談」続雑誌「兵隊」を読む
石田二郎大濱徹也田中綾
短歌・兵隊の自己表現・戦争と平和・兵隊と将校……(無料贈呈)

【価格は税込】
〒101-0065 千代田区西神田2-4-1
東方学会本館



刀水書房

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234
http://www.tousshuobou.com

新版 世界各国史 最新刊

15 **イタリア史** 北原 敦 編 四六判 672頁 4200円

古代ローマから、中世の都市国家をへて19世紀の国民国家形成、さらに21世紀へといたる3000年に及ぶ「イタリア」の歴史を、明確な構成と叙述で示す通史の決定版。参考文献・年表・系図・統治者一覧などの付録も有用。

世界歴史大系 最新刊

スペイン史 全2巻 関哲行・立石博高・中塚次郎 編
A5判 平均540頁 各6300円

- ① **古代～近世** 古代ローマ帝国から西ゴート王国、イスラームをへてカトリック両王、スペイン帝国そして18世紀までを詳述。カスティール王国・アラゴン連合王国にも言及する。
- ② **近現代・地域からの視座** 19世紀以降のスペイン内戦、フランコ体制などをへて現代まで。第二部歴史的地域からの視座 では、カタルーニヤ、バスク、ガリシアの諸地域の歴史を取り上げる。

日本史リブレット 各840円

84 **兵と農の分離**----- 吉田ゆり子

武士と百姓とはどこで分けられたのか。戦国時代から江戸時代にかけて進んだ「兵農分離」といわれる社会の変化を、地域に残された史料から解き明かす。

87 **大名屋敷と江戸遺跡**----- 宮崎勝美

東京大学本郷構内・加賀藩江戸屋敷遺跡の発掘成果を紹介しながら、いまだに空白となっている江戸時代前期の大名屋敷の状況を復元する。

101 **占領・復興期の日米関係**----- 佐々木隆爾

戦後の日本は、アメリカの軍事・外交政策の影響下で、どのように展開してきたのだろうか。歴史の脈絡のなかで再考する。

グローバル・ヒストリーの挑戦 水島 司 編 A5判 2940円

現在に連なるグローバル化の動きに、歴史家はどのような方向性を見いだし提示しうるか。東京大学教養学部での連続講義をもとに編集した、グローバル・ヒストリーの入門書。

資料で読む世界の8月15日 川島 真・貴志俊彦 編

日本では終戦の日として記憶されている8月15日だが、アジアや欧米ではどのように記憶されているのか。新聞・雑誌などの資料を駆使して検証する。A5判 2625円

山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13 税込
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp/>

戦争の日本史(19)

2625円 原田敬一 著 近代日本の進路を決めた最初の対外戦争は、日本「国民」をどう変えたか? 「作戦」とどう変えたか? がわかる本格的戦史。(第19回) ●7月の新刊

日清戦争

日清戦争 原田敬一 著 近代日本の進路を決めた最初の対外戦争は、日本「国民」をどう変えたか? 「作戦」とどう変えたか? がわかる本格的戦史。(第19回) ●7月の新刊



歴史文化(19)

古事記の歴史意識

矢野 龍溪 著 古事記のもくろみ歴史の構想を読み解く。1880年8月の新刊

文明開化 失われた風俗

百瀬 肇 著 1785円 ●8月の新刊

歴史と古典

古典の世界に新しい可能性を切り拓く画期的シリーズ。全10冊(毎月1冊刊行中) 既刊1巻940円(内容案内送呈)

仮名手本忠臣蔵を読む

服部幸雄 著 7月の新刊

万葉集を読む

古橋信子 編 約四五〇首の歌にあらわせた人々の心とは何だったのか? 今剣が確立していく時代に編まれた歌集が持つ意味を探る。第4回 ●8月の新刊

日本の民俗

暮らしの中の様々な民俗から、現代社会を生きる知恵を学ぶ。全13巻(毎月1冊刊行中) 既刊11巻3100円(内容案内送呈)

村の暮らし 家の民俗文化誌

湯川洋司 市川秀之 和田 健 著 村の民俗文化と未来を探る。(第2回) ●7月の新刊
古家信平 多田并幸規 徳丸空木 著 自然暮らし・信州 住まいに世間話の雑聞をみる。(第3回) ●8月の新刊
(第1回) 物と人の交流 川森博司 山本志乃 藤村和樹 著 (第4回) 9月発売 ●見守る女の民俗誌

先達指導隊(言語局) 兌換 選卒 漢式註違案例、謔諷律、瓦斯、擺兵院。あなたはいくつ読めますか?

誰でも読める 日本近代史年表

吉川弘文館編輯部 著 どう読めば良いかわからない近代史の人名や用語。その全てにふりがなを付けた便利で詳細な年表。一八六八―一九四五年をおさめ、付録として一八七三年以降の七冊表を付し、現代史年表 5985円
1945年以降の七冊表を付し、現代史年表 5040円
1945年以降の七冊表を付し、現代史年表 4830円
1945年以降の七冊表を付し、現代史年表 4830円
1945年以降の七冊表を付し、現代史年表 4830円
1945年以降の七冊表を付し、現代史年表 4830円

徳川家康をも魅了した歴史書が、いま「現代語訳」で鮮やかによみがえる!

現代語訳 吾妻鏡

全16巻(刊行中) 五味文彦・本郷和久 著 3月毎に刊行予定 四六開 1冊平均二八〇頁 ●平装本 2415円 (内容案内送呈)

奥州合戦

●8月の新刊 ●2100円

吾妻鏡必携

関 幸彦・野口 実編 3780円

吾妻鏡 百科の決定版
調査法をはじめ、用字や歴史用語、主要人物の解説、系図、関係地図、合戦一覧、略年表など、「吾妻鏡」を読み解く上で不可欠な基礎知識を満載。 ●8月の新刊

室町絵巻の魔力

再生と創造の中心 高岸 麗著 3990円 ●8月の新刊

近世の宗教と社会

全3巻 ●地域のひろがり ●宗教 ●民衆の(未知)と宗教 ●博識 高岸麗著 12600円

今川義元

義元はなぜ桶狭間へ進軍したのか? 「公家版で凡庸」という通説を見直し、知られざる義元の実像に迫る。 ●7月の新刊



有光友編著 人物書畫誌 2200円

沖縄民俗辞典

8400円(内容案内送呈)

沖繩社会のすべてを知る、初めての民俗辞典。



吉川弘文館

2008年版「出版図書目録」送呈 (表示価格は税込)
〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 / 電話 03-3813-9151
FAX 03-3812-3544 http://www.yoshikawa-k.co.jp/

歴史書懇話会

会員社名簿

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12 (板橋営業所) <担当者・古川 清>
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5 <担当者・千葉陽介>
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3 <担当者・石田 亘>
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 大月書店 113-0033 文京区本郷2-11-9 <担当者・大和定幸>
TEL. 03-3813-4651 FAX. 03-3813-4656
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14 <担当者・林 義則>
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 柏書房 113-0021 文京区本駒込1-13-14 <担当者・竹内茂善>
TEL. 03-3947-8251 FAX. 03-3947-8255
- 思文閣出版 606-8203 京都市左京区田中閑田町2-7 <担当者・中江俊治>
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1 (東大構内) <担当者・角田光隆>
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17 <担当者・馬場辰也>
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1 <担当者・中村文江>
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8 <担当者・吉田幸一>
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16 <担当者・榎 祐典>
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 <担当者・西村明高>
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13 <担当者・西田 智>
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8 <担当者・横井真木雄>
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2008年9月1日発行・第179号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店